

MONTHLY LETTER GOVERNOR'S

2025-26年度 国際ロータリー第2730地区

2026

2

vol.08

2025-26年度 メッセージ

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-26年度
ガバナー月信 ~今月の見どころ~

- ガバナー公式訪問
- 地区戦略計画委員会特別セミナー
- 地区補助金事業報告
- 青少年交換委員会活動報告
- クラブ活動報告 etc

樹齢240年を越える「本東寺慧日梅 枝垂れ白梅」

延岡市 慧日山 本東寺



2025-26年度 国際ロータリー第2730地区

西本幸則ガバナー事務所

〒885-0072 宮崎県都城市上町8-9 メインホテル4F

TEL:0986-36-6130 FAX:0986-36-6131 Email:g-office@ri2730.org



▲ガバナー月信は
こちらから

Contents

一目次

- 1P 目次 基本理念 ロータリーの目的
- 2P ガバナーメッセージ
- 3P ガバナー公式訪問
- 5P 地区戦略計画委員会特別セミナー
- 10P 地区補助金事業報告
- 11P 青少年交換委員会活動報告
- 13P クラブ活動報告
- 16P ロータリー奉仕デー
- 17P 社会奉仕委員会便り
- 18P ロータリー文庫／クラブ変更のお知らせ
- 19P ハイライトよねやま
- 21P 寄付金傾向
- 22P 会員数動向

ロータリーの目的

2012年(平成24)日本語訳を綱領から目的に改定 条文の訳も改訂
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーとは 基本理念

奉仕の理想 『Ideal of Service』

第一標語

超我の奉仕 『Service above Self』

第二標語

最もよく奉仕する者、 最も多く報いられる 『One profits most who serves best』

4つのテスト The Four-Way Test

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

ガバナーメッセージ

ガバナーメッセージ

2025-26年度 国際ロータリー第2730地区

ガバナー 西本 幸則

NISHIMOTO YUKINORI

(延岡中央ロータリークラブ)



て行きましょう、だと感じました。

さて、2月の月間テーマは「平和構築と紛争予防月間」です。世界に目を向けると、今なお多くの地域で、紛争や対立が続き、尊い命や人々の尊厳が脅かされています。一方で、平和は決して国だけの課題ではなく、私達の日常の中にも、理解不足や分断、孤立といった形で存在していると思います。そんな中、ロータリーが掲げる平和構築とは、単に争いを止めることではなく、お互いの違いを認め合い、対話を重ね、信頼を築く事だと思います。そして、教育・水と衛生・貧困対策・人材育成などの奉仕活動を通じて、紛争の根本原因に向き合う事ではないでしょうか。そこで私達ロータリアン一人ひとりの行動こそが、持続可能なインパクトを生み出すことで平和への礎となります。地区内では、青少年交換・ロータリー平和フェロー・地域に根ざした奉仕活動など、すでに多くの平和への取り組みが行われています。今月は、是非これらの活動の意義を改めて見つめ直し、「自分に出来る平和への貢献とは何か」を考える機会を例会で、是非とも皆様で話し合って頂きたいと思います。宜しくお願い致します。そして、小さな思いやりや誠実な対話で奉仕への一步が、やがて大きな平和の力になるのではないか?ロータリーの理念のもと共に学び、行動し、希望ある未来を次世代へ繋いでいきましょう。

今月が会員の皆様にとって、平和への理解を深める意義ある月間になることを心より願っております。

都城北ロータリークラブ

公式訪問日
9月16日

同行者

坂下元信 ガバナー補佐
岩佐純一 地区筆頭副幹事



9月16日(火)ロイヤルホテルにて、ガバナー公式訪問例会が開催されました。全ての会員から意見を述べて頂くという新しい試みの中、普段は聞くことが出来ない会員の“想い”を共有することができました。

また、印象的に残っているのは、西本ガバナー

提唱の元で行われた“全員との握手”です。私自身、同クラブにもかかわらず、初めて握手を交わした方もおられます。Rotaryの根幹である『親睦』を改めて実感できる場となりました。

都城中央ロータリークラブ

公式訪問日
9月18日

同行者

坂下元信 ガバナー補佐
岩佐純一 地区筆頭副幹事



この度のガバナー公式訪問、西本ガバナーはじめ関係者の皆様、大変お世話になりました。

「居心地の良いクラブ」をテーマと掲げ、会員さんが出席したいと思えるクラブ作りを会員一同で邁進しています。クラブ活動も積極的に参加したいと思える雰囲気づくりに励み、

クラブ奉仕を礎に会員増強に取り組んで参ります。

都城西ロータリークラブ

公式訪問日
9月17日

同行者

坂下元信 ガバナー補佐
岩佐純一 地区筆頭副幹事



西本幸則ガバナーをお迎えしてのガバナーアドレスでは、ロータリーの目的や4つのテストの重要性、本年度のテーマについてお話しいただきました。クラブフォーラムでは全員と「居心地の良いクラブ」について意見交換することができました。お互いの思いを聞くこと

ができ、会員同士でロータリーについて語り合うことの大切さ実感できた貴重な時間となりました。これを機会に、もっとクラブ内で対話する時間をとり、親睦を深めていきたいと思います。お越しいただきありがとうございました。

日向中央ロータリークラブ

公式訪問日
9月24日

同行者

佐藤信博 ガバナー補佐
岩佐純一 地区筆頭副幹事
西谷 淳 地区副幹事



西本ガバナー、公式訪問の際は誠にありがとうございました。本年度は地区メッセージ「居心地の良いクラブとは」をベースに事業を構築し、活動を始めました。

会員は宝であり、みんなに夢を持ってもらえるクラブを目指して、これからも地域社会への

奉仕事業を展開していきます。
40代が大半を占めるクラブで未熟な分、ご指摘いただいた点をポジティブに捉え、新しい仲間の獲得、会員増強に繋げてまいります。

地区戦略計画委員会特別セミナー

「ロータリー120年の歴史に学ぶ」【講師】 刀根 莊兵衛 氏(敦賀RC)

2025年11月30日、都城メインホテルにて、80名の出席のもと開催されました。

この講演に熱心だった、押川委員長が体調不良の為欠席で、委員の池ノ上パストガバナーに謝辞を頂き、下記の画像の様に、最近のロータリーの変化、会員数の推移、ロータリーの基本原則、ビジョン、あるべき姿等、ご講演頂き、最後に「ロータリーが面白くないというけど…」ロータリーを変えるのは、あなた自身と言うインパクトのある言葉で、講演を締めくくりました。今あるべき、ロータリークラブとして、意義のある講演でした。

※パワーポイントの資料は地区ホームページのDropboxからダウンロードできます。

地区幹事 大久保 次郎(延岡中央RC)

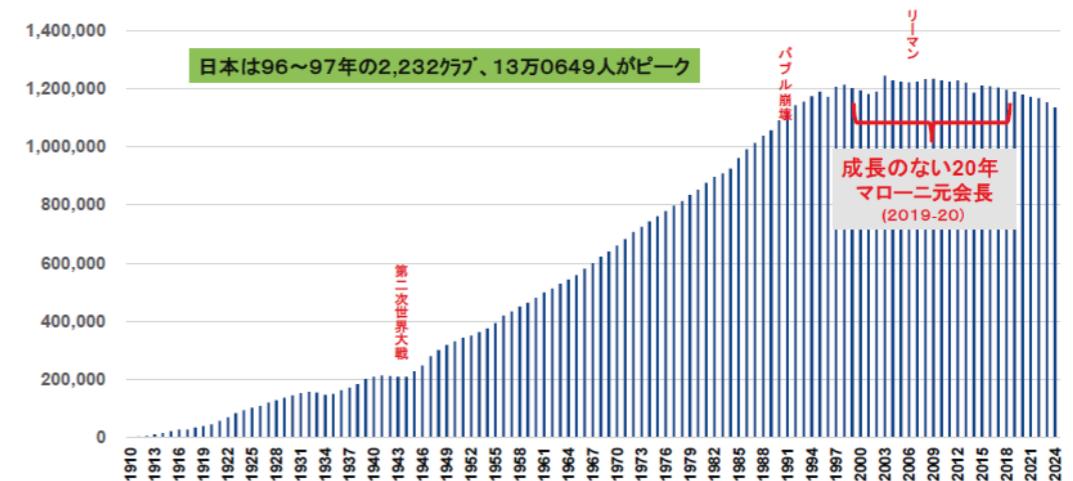


講演資料

最近のロータリーの変化

- 2002年 試験的クラブとして E-club 誕生 D5450
- 2004年 新たなクラブ管理の枠組みCLP (2002年 DLP義務的)
- 2007年 RI長期計画(戦略計画)発表 (2004年COL)
- 2011年 ブランディング戦略 (2017年第2弾)
新たな4つの試験的PG(衛星・法人・準M・柔軟性)
- 2014年 ロータリーを表す言葉の変更
- 2016年 規定審議会 柔軟性導入[例外規定]
- 2017年 RI戦略計画 新ビジョン声明
- 2019年 規定審議会 RACのRI加盟、柔軟性推進
- 2022年 規定審議会 地域化の試験的プログラム

世界の会員数推移



更に、新たな変革が提案されている

1. グローバル会員制度
2. 地域化と試験的な新しい管理組織
3. ロータークトの地位向上
4. クラブの文化を変える (DEI)

ロータリーの基本原則に戻る（原点に戻る）

伝統と復古

- ・歴史の転換点にあたって、歴史を振り返って、拠り所、我々の原点に返って考える
- ・単に昔も戻るのではなく、むしろ、改革のためには復古が必要。**本質的なものにもどる。**
- ・本質的なものが必要。
- ・元になる精神を根底に 一体どういう方向に、何を改革するのか

復古は、昔から続いている日本の伝統！

クラブを取り巻く新しい変化に対して

これから起ころるかもしれない変化にただ流されるのではなく、**クラブ自身がきちんととした理想や夢を持って、変化に対応し、変化をリードする気構えが必要ある**ということ。
(変化に流されずに、自らが流れを創ること)

ビジョンづくり
“全員で車座になって夢を語る”

ハッカソン(hackathon)

ロータリーのあるべき姿

職業人の集まり
事業／専門職業／地域社会のリーダー および 人道的奉仕

戦略計画アンケート調査結果

夢を語るビジョンづくり

ありたい姿・あるべき姿

問題だらけの現実

Present-Push
Future-Pull

理想のクラブ・会員像
クラブの魅力 未来価値

“夢を語り、現在(いま)を刷新”(Review from the future and Renew)考え方を顧み、行く先を見つめ、理想の未来を思い描き、今ここ(現在)を見直し、刷新しましょう

職業人の集まりとしてのロータリーの意義

自己を成長させる(心を磨く)
職業上のメリットを感じる
自分事業の発展(精神的・物質的互恵)
職業人の友情・友愛

などを実感できるロータリーのあり方。
職業人の集まりとしてのロータリーの存在意義を提言する

クラブの戦略(計画実現のためのピラミッド)

なぜ(WHY)
存在するのか
ビジョン
戦略
(差別化)
どうな(WHAT)
価値を
提供できるか
オペレーション
(クラブ運営)
どのように
(HOW)価値を
生み出すか
未来価値

職業人としての成長

「ロータリー入会を決めたときに、自分がどれほど幅広い機会が得られる団体に入会するのかを本当に理解している人は少ないでしょう。最大の喜びは、それを発見することです」
(あるロータリアンの言葉)



J. Edd McLaughlin 1960-61 RI会長

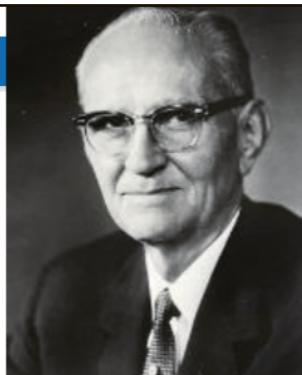
J.エド・マックロウリン
(米国・ラルズRC)

1961年5月28日～6月1日東京大会

RI会長テーマ

You Are Rotary Express it ! Expand it !

あなたはロータリーです それを表現して下さい それを膨張させましょう

**You are Rotarianではなく、You are Rotary
あなたがロータリー！**

- よくロータリーに魅力がない、面白くないというけれど、
実は **You are Rotary** なのだ。
- ロータリーに魅力がないと言う人は、あなたが魅力が
ないということ。
- 人に言う前に、あなた自身が魅力的な人間であれば、
また、そのような人が増えれば、あなたのクラブは
魅力のあるクラブになる。
- あなた自身がロータリー。あなたが主人公。
あなたが、なくてはならない人に！

You are Rotary!

都城中央ロータリークラブ

「ことばがつなぐ、心がひらく。」

都城中央ロータリークラブでは、創立40周年記念事業の一環として、また地区補助金を活用し、地域に暮らす外国人技能実習生への理解と支援の在り方について考えることを目的に、日本語教育支援および講演会を実施しました。発端は、私が私用で海外を訪れた際、帰国の空港で日本へ向かう技能実習生の一団と出会ったことでした。彼らは新しい生活への期待に満ちた笑顔を浮かべていましたが、その一方で、見送りに来ていたご両親が、涙を流しながらスマートフォンで我が子の姿を撮影する姿が強く心に残りました。その光景を目にしたとき、「この子たちは日本で本当に幸せになれるのだろうか」「言葉や文化の違いの中で、日本の社会に安心して溶け込むことができるのだろうか」という思いが自然と湧いてきました。

その後、当クラブの元会員が都城市内でボランティアとして日本語教室を運営していることを思い出し、実際に教室を見学させていただきました。教室では、日本語の学習に加え、ゴミの出し方や交通ルール、地域の行事など、日本で生活していくうえで欠かせない基本的なルールや文化についても丁寧に指導されており、生徒の皆さんには終始笑顔で、意欲的に学習に取り組んでいました。そこには、異国之地で懸命に学び、地域に溶け込むうとする姿があり、強い感銘を受けました。

しかし一方で、教材となる教科書が十分に行き渡っておらず、先生方が自費でコピーした資料を用いて授業を行っているという現状も知りまし

た。限られた環境の中で、地域のために尽力されているボランティアの皆さまの姿に触れ、当クラブとして何か支援できることはないかと考えるようになりました。

そこで今回、当クラブでは日本語教科書の寄贈を行うとともに、元会員のご縁を通じて講演会を開催する運びとなりました。講師には、長年にわたり社会教育・地域教育の研究と実践に携わってこられた鹿児島大学名誉教授の神田嘉延先生をお迎えし、演題「ことばがつなぐ、心がひらく。」のもと、言葉の力が人と人、地域と地域を結び、相互理解と信頼を育む重要な役割を果たしていることについて、豊富な実践事例を交えながらご講演いただきました。

技能実習生や外国人労働者の方々は、地域の産業や生活を支える大切な存在であると同時に、同じ地域社会で共に暮らす仲間でもあります。言葉の壁や文化の違いがある中で、孤立することなく安心して生活できる環境を整えることは、受け入れる側である私たち地域住民の責任でもあると感じました。

今回の創立40周年記念事業および地区補助金を活用した取り組みを通じて、国際奉仕と地域奉仕が重なり合う活動の意義を改めて実感するとともに、今後も地域と連携しながら、継続的な支援と交流を続けていく必要性を強く認識しました。本事業が、外国人の方々と地域住民との相互理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながることを願っております。

都城中央RC 上野 充博



青少年交換委員会活動報告

島津発祥まつり参加報告 (2025年11月23日)



本年度当地区にて受入れをしております、青少年交換留学生3名(ダグマラ、サンニ、スーイ)へ都城の歴史伝承イベントである島津発祥まつりを通して歴史教育を行いました。当日は、五口六外城の姫役として参加してもらうことで、留学生に日本の歴史に触れていただくとともに、都城市民に第2730地区青少年交換留学生のアピールをできたと考えております。また、昭和天皇・皇后両陛下もお泊りになったことのある邸宅(島津邸)も拝見でき、貴重なひと時となりました。今後とも委員会活動として継続して参りたいと考えます。

青少年交換委員長 中村 崇志(都城北RC)



今回は、日本の歴史教育を主題とし、国際平和の重要性、日本の文化・自然の魅力を教えるために、観光地をめぐるツアーを計画いたしました。1日目は知覧特攻平和会館を訪れ、戦争の悲惨さ、なぜこんなに若き青年たちが命を投げ出さなければならなかったのかを音声ガイドから聞き、涙を流す学生の姿も見受けられました。また、桜島の絶景やいわワールドかごしま水族館見学もめぐり、鹿児島の魅力を楽しんでくれたと思います。その後、都城に帰り、第2720地区(熊本・大分)の青少年交換留学生とクリスマス交流会を行い、留学生同士で情報交換をしながら、会話が弾んでいました。

次の日は、宮崎の魅力である自然を堪能して頂くため、鵜戸神宮・サンメッセ日南・青島をめぐり、留学生たちの交流をはかりました。ツアーを通して、第2730地区の魅力を第2720地区と当地区の留学生に理解して頂けたと考えます。帰国した際、母国での帰国報告会で日本の歴史や魅力、学んだことを発信して頂けると確信しております。

今後も、沖縄ツアー・ジャパンツアーを予定しております。民間から始まる恒久的な世界平和の必要性を伝え、小さな親善大使として成長できるよう委員会としてバックアップして参ります。

青少年交換委員長 中村 崇志(都城北RC)



鹿児島北ロータリークラブ

カンボジアポイペット地区井戸2基寄贈プロジェクト 報告書

1 収入(寄付金) 656,100円

寄付金明細

鹿児島北クラブRC 387,100円／鹿児島東南RC 50,000円／サザンリンク(株) 50,000円

鹿児島RC 35,000円／鹿児島東RC 31,000円／鹿児島城西RC 30,000円／鹿児島令和RC 27,000円

鹿児島南RC 18,000円／鹿児島大学アカデミーRC 13,000円／鹿児島中央RC 5,000円

久永忠範(鹿児島西RC) 10,000円

2 支出 656,100円

現地2業者への支払金額は以下の通り。

①ポイペット地区ホングロ村 一 285,000円/セット

②ポイペット地区オーラセイ小学校 一 366,100円/セット

③海外送金手数料 5,000円

合計656,100円

3 事業内容:カンボジアポイペット地区に井戸2基設置

仕様内容:井戸堀、手押しポンプ、セメント仕上げ、水質検査安全確認、プレート作成。

①ポイペット地区ホングロ村に1基設置

・20家族が住む村で井戸および公共水道サービスもなく水は業者から5,000リエラ

(約180円/m³)で購入。生活や飲み水として十分な使用量を購入できていない。

・井戸があればホングロ村だけでなく周辺の村人も利用できる。

②イペット地区オーラセイ小学校に1基設置

・児童数約100名。井戸および公共水道サービスがない為に業者から5,000リエラ

(約180円/m³)で購入。予算不足の為に飲み水として十分な使用量を購入できていない。

③寄付先名プレートの設置

・日本語中心による表記で作成

鹿児島北RC 会長 弓場 秋信

カンボジアポイペット地区井戸2基寄贈プロジェクト終了報告

支援者各位

前略。平素より大変お世話になります。標記のプロジェクトが皆様のご寄付により無事終了し、現地よりお礼状と写真が届きましたので以下(お礼状は次ページ)にご報告致します。本当にありがとうございました。

鹿児島北RC 会長 弓場 秋信

現地より届いたお礼状(1)

1). Impressions of the Students at Ourassey Kandal Primary School, in Poipet.

カンボジアポイペット地区オーラセイカンダール小学校の児童からのお礼状

The students impressed that they are very happy to have a pump well at their school. They use this water to wash their faces, hands, and feet, to use the bathroom, and to water the flowers and small trees in the school garden. Before having the pump well, the school had very little water and needed to buy water from local sellers.

The students would like to sincerely thank the Rotary Club of Kagoshima North and Kagoshima City AB, Japan, for kindly supporting their school, and they wish all donors good health and happiness.

生徒たちは、学校に手押しポンプ付き井戸があることをとても喜んでいます。この水を使って顔や手、足を洗ったり、学校の庭の花や小さな木に水をやったりします。手押しポンプ付き井戸が出来る前は、学校に水はなく地元の販売者から水を買う必要がありました。生徒たちは、鹿児島北ロータリークラブ及び鹿児島市内ABの皆様に心から感謝申し上げます。また、寄付者の皆様の健康とご幸福をお祈り申し上げます。



Pictures of students happily using the pump well after its completion in October 2025.

写真は2025年10月完成した手押しポンプ付き井戸に感謝し使用している様子

現地より届いたお礼状(2)

2) Impressions of the Villagers of Tuol Pongro Village, Poipet

カンボジアポイペット地区トゥオルポングロ村からのお礼状

A representative of the villagers of Tuol Pongro Village expressed his sincere gratitude to the Rotary Club of Kagoshima North & Kagoshima AB, Japan, for supporting the installation of a pump well at the village hall for daily use by the community. This pump well is very helpful for the villagers, as previously they had to buy water from private vendors at high cost.

Now, the villagers can access clean water free of charge whenever they need it. Once again, he would like to sincerely thank the Rotary Club of Kagoshima North & Kagoshima City AB, Japan, and the working team for their generous support. He also wishes the Rotary Club and all donors happiness, good health, and prosperity.

トゥオルポングロ村の住民代表は、村の集会場に手押しポンプ付き井戸を設置してコミュニティが、日常的に水を使用できるよう支援してくれた鹿児島北ロータリークラブと鹿児島市内ABロータリークラブに心から感謝の意を表します。このポンプ井戸は、村人にとって非常に役立っています。以前は、民間業者から高額な価格で水を買わなければなりませんでしたが、今では村人たちは必要な時に無料できれいな水を得られるようになりました。改めて鹿児島北・鹿児島市内ロータリークラブ及び作業チームの皆様に感謝申し上げます。ロータリークラブ及び全ての寄付者のご多幸とご健勝ご繁栄を祈念いたします。



Pictures of Villagers happily using the pump well after its completion in October 2025.
2025年10月完成した手押しポンプ付き井戸の完成を喜び使用している様子

鹿児島大学アカデミーロータリークラブ クラブ社会奉仕活動

本クラブでは、昨年の12月19日に、環境美化と心身の健康増進や主体性の醸成などを目的として、大学周辺の清掃活動を行いました。

大学は、緑豊かな環境の中に位置していることと、季節的なことも相まって、落ち葉がかなりの量に達しており、約1時間にわたり20名近くの会員が爽やかな汗をかきました。今回の活動は、2020年発足以来初めての試みでしたが、今後も継続していきたいと考えております。

また、3月11日には東日本大震災後に鹿児島県で産声を上げた、「ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニープロジェクト」にも参加し、セレモニーを開催する予定です。

鹿児島大学アカデミーRC
広報・公共イメージ委員会 四元 重美



鹿児島市内グループロータリー奉仕デー

Rotary ロータリー奉仕デー
献血推進プロジェクト



ロータリークラブ 献血の輪

ロータリアンの善意の献血で尊い命を救おう

2026年

2月23日(月・祝)

受付時間

午前の部▶10:00~11:45

午後の部▶13:00~16:00

A会場

天文館ベルク広場(山形屋)

B会場

イオンモール鹿児島

献血にご協力いただいた方に
QUOカードをプレゼント！



主催:国際ロータリー第2730地区 共催:鹿児島市内A・Bグループ
主管:鹿児島ロータリークラブ 協力:日本赤十字社 鹿児島県赤十字センター事業部 献血推進課

社会奉仕委員会便り

～産学連携を通じて地域に根差した奉仕プロジェクト委員会を目指して～

学生時代、京都での若かりし頃、ローターアクトクラブの社会奉仕委員会で活動し定期的な嵐山清掃や老人ホーム慰問、夏の合宿では全国の施設を人形劇で行脚しボランティア活動に熱中していた日々…。当時、ビジネスとは何かを鉛々たるロータリアン経営者の皆様に学びました。就職できたのもロータリークラブに育ててもらったと言っても過言ではない学生時代を過ごしました。それから33年後サラリーマンからシニア起業して、まさかロータリークラブにご縁がつながるとは思いもよらず、ご恩返しの機会と感じ入会し現在ロータリー歴8年になります。

故郷に帰り鹿児島大学アカデミーRCに転籍して2年余り、創立約6年の産学連携に恵まれたクラブは会員も増え続け現在50名、伊牟田均会長をはじめとしたチャーターメンバーの皆様のご尽力に頭がさがります。そのような中で本年度奉仕プロジェクト委員長を仰せつかっております。社会貢献はもちろんのこと、会員お一人おひとりが参加意義を感じ愉しくなければ意味がない、それこそ西本ガバナー基本方針「居心地の良いクラブとは」を念頭に置きながら皆で「よいことのために手を取りあおう」に繋げるためにお一人おひとりが選択して参加できる活動を推進中です。

地区の勢井由美子委員長の基本方針とご協力のもと、

- ①鹿児島大学周辺清掃活動②ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニー
(※2026/3/11 鹿児島トヨタ・モビリティスクエアにて実施)
- ③カクイワタ様本社工場見学～明治維新につながる近代工業の歴史を学ぶ～
- ④鹿児島大学水産学部様大型練習船見学（かごしま丸／南星丸）
- ⑤プロバスケットチーム鹿児島レブナーズ様試合観戦、並びに職場見学
- ⑥社会福祉法人旭生会様特別養護老人ホーム旭ヶ丘園職場見学

鹿児島大学アカデミーRC 上水樽 文明



[お問い合わせ](#)



文庫通信 396 号

ロータリー文庫

文庫通信 396 号：職業奉仕

「奉仕の理念を未来へ繋ぐ ロータリーの原点決議 23-34 から紐解く奉仕の心」 D.2580 職業奉仕部門/2023/77P

「職業奉仕」だより D.2750 奉仕プログラム・職業奉仕委員会/2021/39P

「職業奉仕は難しい? 「ためになる魅力あるロータリーガイドブック」抜粋」 D.2590 研修委員会/2023/8P

「ロータリーの職業奉仕の現状と未来」 刀根莊兵衛/(D.2610 職業奉仕講演会)/2020/85P

「私のささやかなロータリー体験 第2集（抜粋）第1～3部」 福西宣孝/2019/122P

「カムリーバンクを訪ねて職業奉仕を想う」 得居仁/月信：2024・3月/2P

「特集「難しいと思っていませんか？職業奉仕」 友：2024・1月/7P

「職業奉仕の手引き」 RI./2025/10P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL: 03 (3433) 6456、FAX: 03 (3459) 7506

串木野ロータリークラブ 連絡先変更のお知らせ

令和7年12月より当クラブの連絡先が変更となりました。
下記ご確認頂きます様、宜しくお願い致します。

新連絡先

〒884-0002
【住 所】鹿児島県いちき串木野市羽島3679 有村工務店内
【電話番号】090-8295-9219 【E-mail】arimura-koumuten@ari.bbiq.jp

よろしくお願い致します。



vol. 310
2026年1月14日
発行

1 第6代よねやま親善大使 カレタオさん退任

昨年7月から第6代よねやま親善大使として活動してきたカレタオさん(ベトナム/2023-25/旭川RC)が、個人の事情により母国に帰国することとなり、2025年12月をもって退任となりました。これまでの献身的な活動に、心より感謝申し上げます。

〈退任のメッセージ〉

この活動を通じて出会った多くの方々とのご縁や、各地でいただいた温かいご支援は、私にとってかけがえのない財産です。親善大使とし

て各地を訪問し、ロータリーの皆さまと直接お会いできたことは、日本の新たな一面を知る大切な機会となりました。米山奨学事業が人の思いと行動によって支えられていることを実感し、その理念は今後の人生においても私の指針となります。これからも一人の米山学友として、米山の精神を胸に、歩み続けてまいります。



2 ハラール体験で異文化交流

現在までに、米山奨学生の累計出身地は134の国と地域に及び、それぞれが異なる宗教や文化、価値観を持っています。今回は、米山奨学生とロータリー会員の相互理解を深める取り組みをご紹介します。



ュ料理店で、本場のハラール料理を味わう企画が実現し、ビリヤニやタンドリーチキンなどが提供されました。実際のハラールについて話を聞き、宗教や社会への理

解を深める機会となりました。柴田会員はサナさんについて、学業や家庭について真摯に語る姿が印象的で、クラブ内でも「とてもまじめな奨学生」として親しまれていると話します。また、奨学生との関係を築く上で大切なこととして、「その国の文化や、相手が大切にしている価値観を尊重すること」を挙げられました。

3 寄付金速報 ー 下期普通寄付のお願い ー

前年同期比

-5.3%

普 -0.4% 特 -7.2%

12月までの寄付金は前年同期と比べて5.3%減(普通寄付金:0.4%減、特別寄付:7.2%減)、約4,500万円の減少となりま

した。当月は500万円の寄付を含む大口寄付が8件ありました。ご支援に厚く御礼申し上げます。1月13日に「2025年度下期普通寄付金のお願い」を各クラブへお送りしております。年初早々からのお願いとなりますが、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

第2750地区米山学友会 創立10周年記念式典
「感謝の10年、飛躍の未来」
開催のご案内

■開催日時: 7月26日(日) 13:00~16:30

■会場: アルカディア市ヶ谷 私学会館

※申込期限は7月10日(金)まで※



4 米山学友初の遺言寄付 ー 次世代に託す「志」ー

米山学友として初めて遺言寄付を申請された林小微さん(1983-84/和歌山東RC)が2024年12月7日、ご逝去されました。

関西米山学友会会長を務めた林さんは、会長在任中に台湾や韓国の学友会を訪問し、学友会の関係構築に尽力されました。また、当財団設立50周年記念式典のフォーラムに登壇されるなど、幅広く活躍されました。

当財団では2000年度より「遺言寄付制度」を設け、事業の趣旨にご賛同くださる方々のご意思をお預



かりしています。林さんは2009年1月、「学友にもこの制度があることを知りたい」との思いから、米山学友として初めて遺言寄付を申請。さらに2017年3月には2回目の申請を行いました。林さんが逝去された後、ご家族は深い悲しみの中にありながらも、故人のご遺志を大切に守り、遺言寄付を実現されました。心より感謝申し上げます。

林さんが遺された志は、当事業を通じて次世代を支える大きな力となっていきます。ここに謹んで哀悼の意を表し、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

5 台湾米山学友会 総会開催

12月6日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、約80人が参加しました。

盧本文理事長(1984-86/松原RC)の開会の挨拶で幕を開け、当会からは井原實副理事長が出席し、祝辞を述べました。同学友会は独自で

現地日本人奨学生を長く支援しており、出席した奨学生の紹介が行われ、温かい拍手が送られました。また、前日5日に前夜祭、6日午前に小旅行が開催され、多くの参加者が集いました。

6 ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生日本語カフェ開催

米山学友を中心に設立されたロータリークラブである東京米山ロータリーEクラブ2750の活動の一つに、「田中作次奨学生」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学生として、ミャンマーの若者への教育支援を目的に2017年に始まりました。ミャンマー米山学友会と連携し、学友自身が現地奨学生の選考を行っています。

12月21日、東京米山ロータリーEクラブ2750とミャンマー米山学友会による合同企画「第13



回ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生日本語カフェ」がオンラインで開催されました。今年度は、大規模な地震被害に見舞われた地域への支援も目的とし、同地域の学生14人を含む22人が選抜。奨学生授与式も行われました。当日は「日本とミャンマーの違い」をテーマにグループに分かれて交流。同クラブの長崎智香子会長は、「ミャンマーが厳しい情勢の中、開催できうれしいです。日本語での交流を楽しんでほしいです」と語りました。

海外米山学友会総会情報

◆タイ◆ 2月21日(土) 16:30~ Royal Naval Institute 開催

(参加申し込み先: n.pechnin@gmail.com)

★10周年★ ◆マレーシア◆ 3月14日(土)~15日(日) Millennia Village 開催

申込期限: 1月31日(土) (参加申し込み先: yoneyama.malaysia@gmail.com)

★10周年★ ◆スリランカ◆ 5月31日(日) 16:00~20:00 AMARI HOTEL 開催

申込期限: 2月28日(土) (問い合わせ先: yoneyamasrilanka@gmail.com)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL: https://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当: 長尾(ながお)

出逢いの聖地



第11回

延岡花物語

期間 2026年2月1日(日)～4月5日(日)

神と人と花が出逢う
早春の五ヶ瀬川

梅

1月下旬
～2月中旬

菜

2月上旬
～3月中旬

桜

2月中旬
～4月上旬

椿

2月下旬
～3月中旬



本東寺 慧日梅 観梅会

2月10日(火)・11日(水祝)

「慧日梅」と呼ばれる、樹齢240年を超えるみごとな枝垂れ白梅のほか白梅50本、紅梅5本を鑑賞しながら野点を楽しむ、延岡花物語のオープニングイベント。

このはなウォーク

2月21日(土)・22日(日)

300本の天下一ひむか桜と100万本の菜の花が咲き誇る五ヶ瀬川堤防。特設ステージでは、郷土芸能をはじめ、歌謡ステージ他のパフォーマンスを楽しむことができる。また、河川敷には「のべおかうまいもの市」など美味しいものがずらり。さらに1,500本のかぐるまが会場を彩る。

延岡花物語Instagram

開花情報やイベント期間中の最新情報をお届けいたします



ケーブルメディアワイワイ プレゼンツ ワイワイ花物語 2026

3月20日(金祝)～4月5日(日)

ソメイヨシノと日本三大ヤブツバキ群を見ながら、「ワイワイグルメ博」をはじめ、美しい桜のライトアップで魅了する「ワイワイ花宵物語」など延岡花物語のラストを飾るイベント。

■ ワイワイ花宵物語 3月20日(金祝)～4月5日(日)

■ ワイワイスケベ 3月21日(土)



開花情報更新中!

延岡花物語 検索

【お問合せ】0982-29-2155 (延岡観光協会)

主催：延岡花物語実行委員会 共催：一般社団法人 延岡観光協会、ケーブルメディアワイワイ イラスト：みよこみよこ

後援：延岡市、国土交通省延岡河川国道事務所、延岡商工会議所、(公財)宮崎県観光協会、旭化成(株)延岡支社、A.みやざき延岡地区本部、延岡市地区連絡協議会、延岡市公民館連絡協議会、延岡市文化連盟、内藤家顕彰会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、宮崎日日新聞社、NHK宮崎放送局、MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、夕刊デイリー新聞社